

校友のお店紹介
オーナー校友
川端 佑典さん
平成30年人間健康学部卒業

くまのこ食堂

一般社団法人 kumano.co が経営
地元食材を地元の調理方法で提供しています

本宮町で今年5月、オープンしました。世界遺産熊野本宮の町で、多くの観光客や地元住民で賑わうお店です。ローカルな食材や自家養鶏の卵など、この地域のよさを堪能できるメニューが多数あります。お店は熊野本宮大社から500mほどの距離にあり、ランチやカフェ利用はもちろん、夜は居酒屋としても楽しんでいただけます。

☎0735-30-0878 ⑤和歌山県田辺市本宮町本宮452-1 ①11:00~22:00
⑥火曜 ⑦新宮駅から車で約45分・紀伊田辺駅から車で約1時間
(熊野本宮大社から徒歩5分)



古民家を改装した店内。どこか懐かしさを感じる雰囲気、熊野の空気を満喫できると評判



自分たちで鶏を飼っています



自然養鶏、朝どれの卵かけごはん
&地元猟師さんから直接仕入れた
鹿をローストして、提供しています。
全く臭みがありません！



大学のゼミ活動で、たまたま訪れた場所がこの本宮町です。最寄りのコンビニまで車で45分かかるような超ド田舎の不便な場所ではありますが、ここにある確かな豊かさや人柄に魅せられて移住し、その魅力を伝えるために起業しました。熊野古道で有名な土地なので、観光にお越しの際はぜひお立ち寄りください。



校友のお店・地元を紹介！

Koyu Walker

に端を発して誕生した、ステキなお若い世代による「地方創生」「地方ン」といった話題を彷彿とさせます。

執筆者

森岡 雅勝さん

平成27年人間健康学部卒業、
29年同大学院 (M) 修了

kumano.co = くまのこは
“熊野”と“仲間(co)”を
意味しています



創業メンバー：川端佑典さん(写真右上)、森岡雅勝さん(写真右から4人め)、
新井紳吾さん(写真右下)、堂岡央丞さん(写真左から3人め) & ボランティアスタッフ

一般社団法人設立の目的と現況、そしてこれから…

私たちは一般社団法人という法人格を取得しています。現在、主な収益としては飲食店の経営のみですが、今後はさらに、地域に仕事を生みだしていくことで、若者たちや地元住民の活躍の場を創り出していこうと考えています。

若者の地方離れが叫ばれる昨今、その理由として「田舎には仕事がない」ということがいわれています。しかし、「仕事がない」

人間健康学部の 校友4人が熊野で起業！

きっかけは学生時代のゼミ活動

学生時代にゼミのプロジェクトで行っていた地域連携事業に「熊野本宮子どもエコ☆ツアー（以下、エコツアー）」がありました。関西大学・堺市・和歌山県田辺市の三者協同のこの事業は、堺市の小学生を人間健康学部の学生が引率し、田辺市本宮町で自然体験キャンプを行うというものでした。このプロジェクトに参加していた学生が現在の『一般社団法人 kumano.co』の創業メンバーになっています。

エコツアーでは、学生が主体となり現地の下見やプログラム調整を行っていたこともあり、私たち自身がことあるごとに本宮町を訪れ、地域住民と交流したりするなかで地域と深く関わっていくことができました。そうして築いていったつながりや、本宮の人たちの「まち」を盛り上げたいという姿勢に触発され、移住、起業を決意することになります。

世界遺産や有名な観光地ということ以上に、「まち」のために奉仕する住民の姿に感動し、若者が離れ、高齢化が異常なスピードで進む地域で、それでもこの「まち」を次の世代につなげていこうという意志に、私たちも微力ながら関わっていきたいと思ったことが理由です。

のではなく、「仕事を生みだせる人がいない」というのが実際の問題です。そんな課題に私たち自身が取り組むことで、若者にとって「地方で働く」という選択肢が持てる社会に、そしてそれを実際に選ぶことのハードルが下がる社会にしていきたいと思っています。

校友
ご当地自慢

くまのほんぐうたいしゃ おおゆのほら 熊野本宮大社 大斎原

熊野本宮大社 2050 年の 歴史を感じる旧社地

熊野本宮大社は2018年に御創建2050周年を迎えています。明治22年の大水害で現在の位置に遷座するまで社殿が置かれていた旧社地が大斎原です。熊野川、音無川、岩田川の合流点の中州に位置し、現在もパワースポットとして多くの観光客に親しまれています。熊野本宮2050年の歴史を大斎原で体感してみてください。

